

くらサポ ニュース ^{NO.} 114

2024/4/1



事例紹介

♪ コーディネーター
リレートーク(第15回)

♪ 蕨市
鷹巢 京子 さん



蕨市は日本一狭い市です。そのため利用者さん宅への訪問は比較的、容易です。くらしの「困った」は、人によって様々なので、依頼内容に合わせて、なるべく早く対応したいと思い支援しています。くらしサポーター制度を知らない方も多いため、組合員さんに広げていきたいです。支部だよりには毎回、くらしサポーターの記事が掲載され、皆さんに支えられて活動しています。

強風で物置が倒れてしまいました。利用者さんはすぐにくらしサポーターのことを思い出して連絡をしました。物置はサポーターさんがすぐに処分し、利用者にとっても喜んでいただけたそうです。

(熊谷市 70代)



サッシの鍵が壊れてしまいホームセンターで購入しました。自分では取り付けが出来ず、依頼がありました。サポーターさんが説明書を見ながら取り付けをしました。

(川口市 70代)

同居の父親のデイサービスやヘルパーさんの訪問がない時に、見守りをしてほしいと依頼がありました。主に昼食時で、サポーターさんは自分もお弁当を持参し、一緒に食事とおしゃべりを楽しみました。

(草加市 80代)



確定申告のための外出同行の依頼です。この季節ならではの依頼ですね。

(所沢市 80代)



コーディネーター 交流会(県北地域)



2月21日(水)、行田協立診療所オシノテラスにて開催されました。日ごろの活動内容や苦労したこと、よかったことや今後の課題について交流しました。

・医療生協を通して気持ちのよい生活、心のつながりが出来る。誰かと繋がっていることが大事だと思う。

・利用者さんに喜んでもらえることが嬉しい。などの声が聞かれました。



くらしサポーターは、感染防止を徹底したうえで、活動します。事前の体調確認、マスク着用、手洗い、消毒など感染予防の基本を励行します。



医療生協さいたま 地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692